

精巣生検を受けられる患者様への説明文書

検査日 平成 年 月 日 曜日 時から

♠ 精巣生検とは？

無精子症（精液中に精子が見当たらない）の場合に、精巣で精子が作られているかどうかを調べる検査です。

♥ どのように行うのか？

検査は手術室で局所麻酔で行います。陰囊の皮膚を約1cmほど切開し、精巣の組織を耳かき1杯分くらい採り、これを顕微鏡でみて、精巣で精子が作られているかを調べます。切開した陰囊の皮膚は糸で縫い合わせます。検査中は点滴、血圧測定などを行います。

♣ 合併症

- ・ 痛み；通常は我慢できる程度ですが、検査後に数日間にわたり痛みを感じる場合もあります。
- ・ 出血；まれに内出血して陰囊が腫れることがあります。入院の上再手術が必要になることがあります。
- ・ 感染；まれに排膿のために再手術が必要になることがあります。
- ・ 傷の治り具合が悪く、完全に治るまで時間がかかることがあります。

◆ 検査の準備

- ・ 検査の前日に陰囊の毛をはさみで短く切り、入浴して下さい。可能であれば剃って頂いても結構ですが、皮膚を切らないように注意して下さい。
- ・ 検査当日の朝は絶食で、検査までに排便、排尿を済ませておいて下さい。

★ 検査後の注意

1. 検査後に抗生剤、鎮痛剤を処方しますので服用して下さい。
2. 検査当日は出血を予防するため安静にして下さい。
3. シャワー浴は術後翌日より、入浴は4日目よりお入り下さい。
4. 検査結果は不妊外来（水曜日午後1時より、予約制）で説明させていただきます。

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来までお知らせ下さい。

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日

患者氏名